

両市の代表的な寺院「那谷寺」「瑞泉寺」には「自然智」「土徳」という自然信仰を由来とする言葉があります。両寺院にある「山門」を題材に、自然信仰の思いと未来への入り口という意味を込めて制作されました。

山門 作品名

森羅万象

「森」は茂る。

「羅」はつらなるの意。

「万象」はさまざまな形の意。

宇宙間に存在する数かぎりないすべてのもの。

Universal gate

小松市と南砺市の縁を象徴するように、艶やかな柱に躍動する龍が巻きつく姿は、見る者を魅了します。

九谷焼の「陶板の柱」と井波彫刻の「龍の木彫」を用いて山門を表現



サイズ
縦2.5m×横3.0m×
奥行1.0m

意匠
デザインのテーマは「生命」。2次元で美しさを表現する九谷焼と、3次元で迫力を引き出す井波彫刻の強みを生かす配置に設計されました。

PICK UP! 進化を続ける、人と自然を調和させる九谷焼

約370年前に加賀地域で作られ始めた九谷焼は「五彩」と呼ばれる青(緑)・黄・紺青・紫・赤で彩られた大胆な絵柄が特徴です。

市内で採掘される花坂陶石は、現在も九谷焼の原料として使われており、こまつの地は製土から、型、生地、上絵まで九谷焼に関するすべての技法がある場所です。それぞれの工程に独自の技術・技法があり、伝統を踏まえながら多種多様、個性豊かな作品が作り上げられています。

九谷焼は、いつの世も、新しいものを作り出し、新しい表現を生み出す伝統工芸として高く評価されています。



PICK UP! 井波彫刻の魅力

井波彫刻は、富山県南砺市の井波地域で受け継がれている伝統工芸です。日本一の技術力を誇るといわれ、200本以上のノミと彫刻刀を使用し、深彫りの高度な木工技法で立体的かつ躍動感のある作品を作り上げるのが特徴です。

井波彫刻は今から250年以上前、当時大火によって消失した井波別院瑞泉寺の再建のため、京都から御用彫刻師を迎え入れ、井波の大工が技法を習ったことを起源としています。

当初は寺社彫刻が主でしたが、時代の変化に合わせて欄間やシャンデリアなどにも使われるようになり、今日までその高い技術力が受け継がれています。また、近年では彫刻師がギターを制作するなど、伝統を生かしつつ新たな試みにも積極的に取り組まれています。



出展企画

LOCAL JAPAN EXHIBITION

全国から43の自治体(地域)が結集します。技術や伝統文化などの魅力を体感できるブースや企画を披露!

万博首長連合の催事
「Resolution of LOCAL JAPAN展」

とき
7月28日(月)~31日(木)
いずれも10時~20時
催事会場
EXPOメッセ「WASSE」



特集に関する問い合わせ

観光交流課 ☎24・8076

この特集では、小松市の伝統工芸・九谷焼と南砺市の名高い井波彫刻が融合した、壮大な作品についてのプロジェクトを紹介いたします。



2025年4月開催の大阪・関西万博は世界中から注目を集める歴史的なイベントです。その貴重な場で、小松市と富山県南砺市がタッグを組み、北陸の誇る伝統工芸を世界に発信します。

小松九谷と井波彫刻で魅せる、日本の新たな伝統工芸

特集

「未来社会」を描いて世界中が参加する博覧会

大阪・関西万博は、4月13日~10月13日に開催される大規模な国際博覧会です。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、会場となる大阪湾の人工島「夢洲」では、多くの国々や自治体、企業によるパビリオン(展示館)が立ち並び、最先端のテクノロジーや伝統文化、食文化などが体験できます。

国際的な舞台で小松をアピール

小松市が万博に出展する意義は、国際舞台での発信力強化が挙げられます。万博は国内のみならず、世界中からの訪問者でにぎわいます。この舞台で小松の文化や伝統、ものづくりを世界にアピールできることは、大きなチャンスと捉えることができます。万博を契機に小松の地域資源が認知され、その後のインバウンド誘致にも好影響が期待されています。

「山門展示」以外にも様々な万博催事に出展!

「産地の技術」をテーマに 中部地域の観光団体とスクラム!

中部広域圏でアピール!

出展企画 「フューチャーライフエクスペリエンス」

博覧会催事の1つ「フューチャーライフエクスペリエンス」では、未来の食・文化・ヘルスケアを主なテーマとし「未来の暮らし」が体験できます。



出展タイトル
未来の観光
～中部のホンモノ体験～
とき
5月6日(火・休)～12日(月)
ところ
フューチャーライフヴィレッジ

小松市は、富山県南砺市や岐阜県多治見市、関市、愛知県瀬戸市などとともに中部地域における産地の技術(伝統産業・地場産業など)を共同出展します。
小松市は弁慶、富樫、義経を題材にした九谷焼作品の展示など、趣向を凝らした出展を予定しています。



「祭り」をテーマにした 石川県主催の万博催事に参加!

石川県全体でアピール!

出展企画 大阪・関西万博 石川県催事

能登・加賀の多彩な祭りや伝統芸能など、約20団体が一堂に会し、迫力ある展示や実演を行うほか、能登復興を発信する展示や物販などを予定しています。
また、県内全市町がPRブースを出展します。

とき 8月27日(水)
ところ EXPOアリーナ「Matsuri」

がんばろう
石川!

入場チケットについて

大阪・関西万博の参加には入場チケットが必要です。詳しくは万博ホームページをご覧ください。



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク



万博では、こまつ新交流ビジョンのコンセプト「もっと深く、おもしろく」を合言葉に小松の良さを全国、そして世界に発信します!
Komatsu 九や市内各所が大勢の来訪者と市民の皆さんでにぎわうように取り組んでいきます!



小松市観光交流課
担当課長 小林 太一 さん

こまつ新交流
ビジョン2024▶



門柱の陶板は、小松九谷工業協同組合に所属する32人の作家が、それぞれの感性で作陶したものです。人間国宝からベテラン、若手までの多様な個性が一体となっています。
井波彫刻と九谷焼の技と美がバランス良く共演できた作品に仕上がりました。万博を機に、多くの方にご覧いただきたいです。



九谷焼



小松九谷工業協同組合
理事長 宮本 雅夫 さん

井波彫刻



井波彫刻協同組合
理事長 花嶋 弘一 さん

井波彫刻は瑞泉寺の宮大工から始まり、彫刻師としての道を切り開いてきた歴史があります。南砺市井波地域は、石畳の通りに工房や町家が立ち並び、町全体が木彫刻美術館と称されるまちです。小松市の皆さんも、ぜひ南砺市を訪れて「日本遺産」の木工芸術を体感してください。

おすすめ
観光スポット!



井波彫刻のルーツである瑞泉寺。堂宇の内外に、絢爛な木彫りが装飾されています。

PICK UP!

南砺市との縁

令和6年8月、小松市と南砺市はまちづくりにおいて相互に連携協力し、両市それぞれが発展することを目的に「自治体間連携協力に関する協定」を締結しました。

小松市は株式会社小松製作所の発祥地であり、南砺市は小松製作所中興の祖とされる河合良成氏の出身地であることから、産業界のつながりがあります。

協定式後には「大阪・関西万博 南砺市・小松市連携実行委員会」の設立総会が行われ、万博での共同出展に向けたプロジェクトが開始しました。

両市には伝統工芸や曳山行事など共通する資源も多く、今後も連携してまちづくりに取り組んでいきます。



小松市と南砺市は絆も深めながら地方創生をリードします



Interview!

作品に携わった皆さんの声
九谷焼作家と井波彫刻師がそれぞれの技を持ち寄った壮大なコラボレーション。プロジェクトを通じて感じた思いを、それぞれのキーマンにインタビューしました。